

自己評価報告書

(令和4年度)

目次
評価項目
(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営
(3) 教育活動
(4) 学修成果
(5) 学生支援
(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務
(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献

学校法人高知理容美容学園
高知理容美容専門学校

1. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

1-1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	適切…4、ほぼ適切…3、 やや適切…2、不適切…1
教育目標や教育方針並びに重点目標に沿った指導を行っている。	④ 3 2 1
1-2 学校における職業教育の特色は何か。	
新時代の美容師を養成するためカリキュラムの一部に選択課目を導入して自分自身の個性と職業適性を見極めさせる機会を持たせている。	④ 3 2 1
1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	
多様性・循環型社会の時代、業界人のニーズに沿って美容師免許を取得している方を対象とした修得者課程を設置した。今後も社会の動向を踏まえて対応していく。	④ 3 2 1
1-4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	
入学ガイダンスで入学生とご父兄を学校に招いて教育理念や教育方針などが載っている「学生便覧」を交付し学校生活等について説明を行っている。	④ 3 2 1
1-5 教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか。	
基本的技術はさることながら、社会人としての礼儀や一般常識を備えた人材作りが業界のニーズであり、そのための「マナー」の授業を行い、資格検定まで挑戦している。	4 ③ 2 1

① 課題

社会人向け教育に関するマナー授業に関しては、ビジネス的見地の色合いが強い感じがあり、もっと関係する業界に即した実務的な目線で業界関係の企業・団体等による授業を取り入れていきたいと考えている。

② 今後の改善方策

今後も業界人による職業実践授業等を積極的に取り入れていきたいと考えています。

③ 特記事項

(2). 学校運営

2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	
毎年3月、職員会を開催して「学校運営計画」資料を職員に配布して、重点項目や各ポイント、目標等について説明して共有化している。	④ 3 2 1
2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	
事業計画を策定して理事会、評議員会を通して共有化している。	④ 3 2 1
2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか。	
教育関係は校長・事務長・教員間で定例職員会等にて調整・決定している。また、学校運営全体の事項に関しては理事長・校長・事務長で運営会議を経て決定している。職務権限規程については制作中です。	4 ③ 2 1
2-4 人事・給与に関する規程等は整備されているか。	
就業規則、給与規程、賞与規程、人事考課規程等で明確にしている。	④ 3 2 1
2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	
教務・事務局が十分な協議を通して決定している。また、毎年役割分担表を作成して徹底して業務の効率化につなげている。	④ 3 2 1
2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	
学生には「学生便覧」において学生心得として社会規範・道徳等中心に徹底、教職員にはコンプライアンス規程及びコンプライアンス委員会規定を定め、共有化している。	④ 3 2 1
2-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	
学校の事業計画、教育活動、財務、学校評価などの情報を毎年HPにて開示している。また、随時、学校ニュースについてHPにて公開しています。	④ 3 2 1
2-8 情報システム化等に業務の効率化が図られているか。	
職場管理システムを導入し業務に関する指示徹底を図っているが、事務関係、教務関係のシステム化されず今後の課題でもある。	4 ③ 2 1

① 課題

令和4年度も諸規程の見直しを実施しました。職場管理システム化については導入している。
 事務・営業・教務のシステム化については今後の大きな課題であり段階的に改善予定。

② 今後の改善方策

段階的にソフト導入して効率化を図っていきたい。

③ 特記事項

(3). 教育活動

3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。				
学校から社会にスムーズに移行できるように基本となるコミュニケーション能力、礼儀・マナー教育などカリキュラム編成して行っている。	④	3	2	1
3-2 教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。				
一定の教育レベルに達することを目標においてカリキュラムを編成している。業界ニーズを踏まえて担当教員が授業計画を進めている。	④	3	2	1
3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。				
養成施設に義務づけられている必修課目と本校独自に策定している選択課目がある。選択課目については業界ニーズも踏まえ見直しを行っている。	④	3	2	1
3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。				
カリキュラムの一部に選択課目を入れて学生自身に自分の個性と職業適性を見極めさせる機会として教育を進めている。	④	3	2	1
3-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。				
美容技術が多岐に渡ることからカット、メイク、エステ、ブライダル、アイラッシュ、カラー、スパから選択できるようにコースを見直し、業界人との連携により実践授業を行なっている。	④	3	2	1
3-6 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。				
1年次の冬休み、2年次の春休みを使って1週間を目安とした校外実習をサロンの一環として実施している。総計60時間の実務経験である。	④	3	2	1
3-7 授業評価の実施・評価体制はあるか。				
教育課程編成委員会で授業計画について説明はしているが評価制度までは至っていない。教員間で意見交換を通して授業改善に取り組んでいる。	4	③	2	1
3-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。				
実務実習終了時に、ご指導いただいたサロン様から実習評価を頂いている。そして、頂いたご意見を教員、就職担当が学生指導の参考としている。	4	③	2	1
3-9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。				
「学生便覧」の中に成績評価制度、GPA制度の説明を入れており、その資料を用いて入学ガイダンスの時に説明している。	④	3	2	1
3-10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。				

各種の資格検定の取得を1年次より推奨している。また、国家試験全員合格を目指しており、それに合わせた体制を組んでいる。この2年間、感染症で未受験者が各1名出たものの受験生全員が合格を達成している。	④	3	2	1
3-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。				
新しい美容技術と伝統的な美容技術を融合して、職業選択の幅が広がるように授業を目標としている。	4	③	2	1
3-12 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。				
業界で活躍している方を講師として招聘し、実践的な授業を実施している。	④	3	2	1
3-13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。				
毎年、一定のテーマに基づき業界人による「特別授業」を実施して、教員・学生が「学びの場」「研修の場」として行なっている。	4	③	2	1
3-14 職員の能力開発のための研修等が行われているか。				
関連する四国地区理容師美容師養成施設協議会が主催する教職員研修会について、全教職員が積極的に参加して自己研鑽に努めている。また、毎年3月に学内に外部講師を招聘して研修を実施している。	④	3	2	1

① 課題

教職員の研修計画を計画通り進めることで知識、技術の向上を図っていく。また、外部講師を招聘しての授業により授業のクオリティを上げ学生のみならず教員も育成していきたい。

② 今後の改善方策

計画的に研修受講の機会を作っていく。

③ 特記事項

業界人の意見を幅広く受けて、外部評価に繋げていきたい。

(4). 学修成果

4-1 就職率の向上が図られているか。	
1年次の5月から県内・県外のサロン説明会に年間4回～5回参加することで就職活動に対する意識付けを行っている。そして就職活動を兼ねて実施されるサロンでの校外実習に繋げることで就職率の向上を図っている。	④ 3 2 1
4-2 資格取得率の向上が図られているか。	
1年次から関係する各種資格検定に対して学習の機会を与え自主性を高めている。また、国家資格の取得率向上に対する取り組みは教員が全員参加して12月から集中的に行い成果に繋げている。	④ 3 2 1
4-3 退学率の低減が図られているか。	
出席状況や学習態度などの情報を教職員間で共有し、面談等も行い学生対応している。また、随時、保護者とも連絡をとり問題解決に向けて共有しながら退学率の低減を図っている。	4 ③ 2 1
4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	
募集担当者により就職先サロンを毎年、定期的に訪問して卒業生の状況把握しながら、学校教育に関する課題点等を把握するようにしている。	4 ③ 2 1
4-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	
卒業後にキャリア形成プランを練ることができるように、業界人の意見等参考にカリキュラムの見直しを行っている。	4 ③ 2 1

① 課題

各種の資格検定に関しては1年時から取れる資格は積極的に取得させているが3級止まりとなっているので、更に上級資格を狙える環境づくりをしていく。

② 今後の改善方策

上級資格が取得できるようなカリキュラム、指導者など環境設定を行っていく。

③ 特記事項

(5). 学生支援

5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	
校内で県内サロン説明会を年間3回、学外で県外サロン説明会1回開催、また、業界人による就職講話も開催して就職活動を後押ししている。又、就職担当者による個別指導を行っている。	④ 3 2 1
5-2 学生相談に関する体制は整備されているか。	
卒業年次生に対しては学年主任が主に相談にのっている。具体的な就職活動に対しては就職担当者が細かく指導を行なっている	④ 3 2 1
5-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	
文部科学省の高等教育の修学支援制度の認定校として認められている。入学時の経済的負担を軽減する「入学時0円サポート制度」「一人生活応援制度」「兄弟姉妹・親族優遇制度」など学費減免制度を拡充している。保護者向けには「オリコの学費サポートプラン」の導入を図っている。	④ 3 2 1
5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	
毎年、学生全員に対して胸部X線検査を実施している。また、通学時や授業中の不慮の事故に対する傷害保険にも加入し、学生の健康管理に努めている。	④ 3 2 1
5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	
特にクラブ活動は特にないが、各種のコンテスト出場学生に対する練習に対しては放課後も技術指導を行ったりしている。	4 ③ 2 1
5-6 学生の生活環境への支援は行われているか。	
高知市内にある不動産業会社2社と連携して、一人暮らしの学生に対しての学生アパート等の斡旋を行い安心できる生活環境の支援に務めている。	4 ③ 2 1
5-7 保護者と適切に連携しているか。	
日常的に学校生活に問題点があれば随時、保護者と連絡をとっている。特に出席状況、学習面で課題のある学生に対しては保護者面談を依頼し、初改善につとめている。	④ 3 2 1
5-8 卒業生への支援体制はあるか。	
中途退社した者に対して就職斡旋や国家試験不合格者を対象に卒業後も指導、応援している。	4 ③ 2 1
5-9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	

社会人たちのニーズに沿って、通信課程に一般コース、修得者課程の新設を行い「学び直し」に対して整備した。また、社会人としての「挨拶」「礼儀作法」「自主性」など職業教育を授業の一環として向上を図っている。	4	③	2	1
5-10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。				
高等学校への出前授業を毎年継続して実施している。また、高知県専修学校各種学校連合会の一員として、県内の高等学校で幅広く職業体験を実施。	④	3	2	1

① 課題

放課後の自主練習に対して目的、時間等含めて再検討の必要性がある。

② 今後の改善方策

練習に対して指導体制を再構築して応援していく。

③ 特記事項

(6). 教育環境

6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	
長年使用していた1・2年生用の机、椅子を新しいものに全て取り換えた。また、各教室の空調・照明関係も新調して環境整備を行った。	④ 3 2 1
6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	
実践的なサロンワークを学ぶ事を目的とした校外実習を県内のサロンと連携して一人60時間を基準として実施している。	4 ③ 2 1
6-3 防災に対する体制は整備されているか。	
防火管理者を置き、毎年1回は避難訓練を実施して災害等に備えている。地震体験車両による阪神淡路、東北を想定した地震体験をして認識を新たにもらった。将来の防災に対する備蓄等含めても整備していく。	4 3 ② 1

① 課題

防災に関しては形式的なもので終わっているので、有事を想定した事業継続計画含めた、実際に機能する防災計画を実現する必要がある。

③ 今後の改善方策

教職員の意識醸成が必要であり、教職員研修等を計画していきたい。

③ 特記事項

(7). 学生の受入れ募集

7-1 学生募集活動は、適正に行われているか。				
募集担当者による高校訪問・進学ガイダンス、また、職業理解の分野別説明会への参加、学校の雰囲気等を知ってもらうための本校でのオープンキャンパス、出張オープンキャンパスを実施している。HP や SNS による情報発信をタイムリーに行っている。	④	3	2	1
7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。				
就職率、各種の資格取得状況、コンテストでの成績などを校内に張り出して学生達に紹介している。またパンフレットやHP で公開している。	④	3	2	1
7-3 学納金は妥当なものとなっているか。				
他校の学費水準も把握したうえで理事会の承認を得て決定している。また奨学金利用率が上昇している現状を踏まえ設定している。	④	3	2	1

① 課題

18歳未満の人口減少が大きな課題となっている。特に高知県内の高等学校生徒数が減少傾向にあり、昼間課程の生徒募集に影響してきている。

② 今後の改善方策

通信課程を含めた募集体制の強化をしていく。

③特記事項

(8). 財務

8-1 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。	
コロナ禍でも学生募集の落ち込みはなく、募集人数回復基調となり財政基盤は安定に向かってきた。そうしたことで校舎含めて全体の痛みに対する修繕を毎年一定金額施すことが出来た。	4 (3) 2 1
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	
予算・決算ともに理事会・評議員会において審議され、決算については会計監査員による適正に監査を行なわれている。	(4) 3 2 1
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか。	
通常の監査に加え中間監査を行い適正な財務管理を行っている。 寄付行為に基づく監査を行い、監査報告書を理事会および評議員会に提出している。	(4) 3 2 1
8-4 財務情報公開の体制準備はできているか。	
「情報開示ガイドライン」に基づきホームページに開示している。	(4) 3 2 1

① 課題

人件費含めた経費削減の課題もかなり進展し、学生募集の回復に伴って財務面も安定してきた。

②今後の改善方策

学生募集に関しては昼間課程、通信課程の両面において募集強化して学費収入を安定したものにする。

③特記事項

(9). 法令等の遵守

9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	
学校教育法及び専修学校設置基準等、関係法令や学内規程を遵守して、適正な学校運営を行っている。令和4年9月には高知県健康政策部・薬務衛生課の定例の指導調査を受けて一定の評価を頂いた。	④ 3 2 1
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	
個人情報に関しては毎年、入学生には使用目的を明確にした個人情報の取扱いに関して文書で本人及び保護者の同意を得て使用、管理している。また、学外に流出することが無いように個人情報の学外持出しを禁止している。	④ 3 2 1
9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	
「選ばれる学校作り」に向けて各所の問題点を洗い出してその対策に取り組んでいる。又、学校評価委員会、教育課程編成委員会において各委員からそれぞれの立ち位置で意見を聴取して参考としている。	④ 3 2 1
9-4 自己評価結果を公開しているか。	
事業報告など財務情報に至るまで学校に関する各情報をホームページにおいて毎年公開している。	④ 3 2 1

① 課題

毎年、教職員のスキルアップのために外部講師を招聘して研修を実施しているが、反面、関係する法令等の知識吸収する機会が余りなく課題として残る。

② 今後の改善方策

一人ひとりの意識を醸成しながら、職場内研修として機会を作って行く。

③ 特記事項

(10). 社会貢献・地域貢献

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	
教室や実習室等を授業時間外に学生達に18時までは開放している。これまでは近隣の老人ホームに出向き、理容によるボランティア活動を行ったり、地域イベントに参加してメイクを行ったりしていたがこの3年間は新型コロナにより出来ていない。	4 (3) 2 1
10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	
コロナ禍であり学校挙げての活動は自粛している。これまでは県内のイベントにボランティア参加する学生の取組みを学校としては支援している。	4 (3) 2 1
10-3 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。	
県内の中学校から依頼があれば校内で職業訓練講座を引き受けたり、高等学校からの出前授業等も積極的に行っている。	(4) 3 2 1

① 課題

コロナ禍であったこともあり活動が全くできなかった。

② 今後の改善方策

教育の一環として社会貢献とした活動は積極的に進めて行きたいと考えている。

③ 特記事項